

目黒区エコプラザ指定管理者運営評価結果について

目黒区エコプラザ指定管理者の令和5年度運営評価結果を報告する。

- 1 施設名 目黒区エコプラザ 目黒区目黒一丁目25番26号
- 2 指定管理者 エコライフめぐろ推進協会 目黒区上目黒二丁目19番15号
代表者 相馬 熊郎
- 3 指定期間及び運営評価の対象期間
指定期間 平成31年4月1日から令和6年3月31日まで（5年間）
評価対象期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

4 運営評価の方法

「目黒区付属機関の設置に関する条例」に基づき設置された目黒区エコプラザ指定管理者運営評価委員会（構成員は別表のとおり）において、指定管理者から提出された事業報告書、利用者のアンケート結果、指定管理者の自己評価及び施設の視察について、あらかじめ定めた基準に基づき評価を行った。

5 事業報告書の概要

別紙「目黒区エコプラザ事業報告書（概要）」のとおり。

6 施設運営に係る区の歳入・歳出決算額の推移

（単位：円）

項目	26年度 (3期1年目)	27年度 (3期2年目)	28年度 (3期3年目)	29年度 (3期4年目)	30年度 (3期5年目)	備考
歳入	7,059,375	7,538,550	6,481,550	675,720	571,625	不用家具の再生事業販売 収入(平成28年度まで) 活動室使用料収入
歳出	35,983,284	31,095,221	34,986,994	26,865,216	26,865,216	運営管理経費
項目	元年度 (4期1年目)	2年度 (4期2年目)	3年度 (4期3年目)	4年度 (4期4年目)	5年度 (4期5年目)	備考
歳入	481,775	108,900	86,775	153,925	180,162	活動室使用料収入
歳出	26,995,560	27,120,000	27,000,000	27,000,000	27,000,000	運営管理経費

7 指定管理者の自己評価結果（点数は小数点第2位を四捨五入）

自己評価	84.0点：十分水準を超えていた
------	------------------

8 総括評価結果（点数は小数点第2位を四捨五入）

総合評価	84.6点：十分水準を超えていた
------	------------------

9 評価内訳

評価項目	内 容	配点	得点
1 事業の実施 に関する事項	(1)事業計画に関する理念及び基本的な方針	20	17.75
	(2)環境負荷の低減に関する講座・講習会に関すること。	10	8.75
	(3)環境負荷の低減に関する情報収集・提供に関すること。 （情報室関係）	10	8.5
	(4)施設の利用に供すること。 （活動室、展示コーナー及び打合せコーナー関係）	10	9.25
	(5)不用物品の再生に関すること。	10	7.5
	(6)不用物品の販売又は交換の場の提供に関すること。 （リサイクルショップ関係）	10	8
	(7)環境負荷の低減に関する活動を行う団体の育成に関すること。	10	7.5
	(8)関係機関との連携（学校や地域団体等）	20	16
2 管理運営に関 する事項	(1)経営状況及び事業実績	10	9
	(2)管理運営の効率性	10	8.75
	(3)管理運営に必要な人員体制	10	8.75
	(4)安全管理・個人情報保護	10	8.75
	(5)意欲・熱意	10	8.5
合 計		150	127
		84.6 （100点満点換算）	

・点数は小数点第2位を四捨五入

・評価項目1の(1)及び(8)については、内容の重要性に鑑み、配点を20点としている。

・令和4年度評価結果は、85.2点。

所 見	1 サービス・事業 ・公式Instagramの試行運用を行うなど、若年層への告知強化や利用促進に積極的に取り組んでいる。 ・講演会・講座・イベントを継続して積極的に開催できており、海浜公園での自然体験など新テーマを取り入れ単純な継続に留まらず活動できていることは高く評価される。 ・児童館への出前講座や子ども服交換会など、子育て世代の参加拡大を積極的に行ったが、動員に課題を残した。 ・季節ごとにテーマを変えた展示や貸出図書など、情報提供のあり方を工夫していることは高く評価されるが、さらなる工夫による利用者拡大を期待する。 ・コンタクトレンズの分別回収量が順調に伸びており、今後は小型充電式電池の回収量も伸ばしていくよう利用者への周知を図ってほしい。
-----	---

所 見	・不用品情報の登録件数の増加に対し取引成立件数が減少していることから、さらなる工夫を期待する。 ・環境推進員（エコサポーター）養成講座の実施など個人や団体の活動支援も十分に継続できている。 ・環境活動団体の意見や要望を聞く場を設けたが、意見が記録として残されていなかったことが課題である。 ・関係機関と連携した事業を安定して継続できしており、東大のサークル（環境三四郎）との協働も高く評価される。 ・リサイクルから脱炭素へと求められる役割が拡大する中でどのような対応をとるのか示してほしい。 ・「委員会意見に対する改善策等」は決意表明に終始せず、具体的な取組み内容を記載してほしい。 ・総合庁舎本館西口ロビー展示等を活用して、広く区民にエコプラザを周知してほしい。 2 利用者対応 ・各企画に対するアンケート収集を継続的に行い、利用者の意見要望の収集に努めている。 ・護美アートなどのリソースを用いて定期的なエントランスの模様替えを検討してほしい。 ・ペーパーレス化や内容の迅速な更新のために、パンフレット類を QR コードから電子的にアクセスする形に変更することを検討してほしい。 3 個人情報管理 ・個人情報管理は継続的かつ適切に実施されており、今後も適切に実施されることを期待する。 4 安全管理 ・安全管理は継続的かつ適切に実施されており、今後も適切に実施されることを期待する。 ・緊急事態にも対応できる体制づくりを行っており、安全確保や危機管理、個人情報保護等適切に対応がなされている。 5 効率的な運営 ・リサイクルショップでは寄付品受付の制限やターゲットを意識した展示・陳列の工夫などが継続的に行われており、適切な店舗運営が行われている。 ・リサイクルショップの販売点数はやや減少したものの、販売金額は増加傾向を維持できしており、ショップ事業の運営実績の点で高く評価される。 ・管理運営は適切に実施されており、経費の積算内容についても質問事項に対して明瞭に回答するなど特段の不明点は見出されず、効率的に運営されていると評価される。 ・脱コロナ以降、感染対策と活動の充実化のバランスを考慮せねばならなかったが、講座開催やショップ運営を安定的に継続できていた点は高く評価される。 ・緊急時に備えた応援体制も含めて、適切な人員体制で、各職員が主体的に業務に取り組んでいる。 ・運営に対する改善意欲の高さは昨年度より継続しており、地道かつ着実な改善が
-----	--

	蓄積されつつあることも併せて高く評価される。ただし、さらなる工夫が可能である点も見出された年度でもあり、さらなる改善に向けて検討してほしい。 ・ポストコロナにはコロナ禍前に戻る部分とコロナ禍前とは異なった状態になる部分（オンライン会議の浸透など）との双方があり、今後のポストコロナでの運営に関するビジョンを示してほしい。予算決算やアンケート結果などもコロナ禍前のものと比較してみてほしい。 以上から総合的に判断して、指定管理者の管理の業務は、「十分水準を超えていた」と評価できる。
--	---

（別表）目黒区エコプラザ指定管理者運営評価委員会構成（敬称略）

職	職名	氏 名
委員長	・東京工業大学教授	高橋 史武
副委員長	・東京大学大学院教授	梶田 真
委員	・中小企業診断士	伊東 康夫
委員	・目黒区産業連合会会長	團村 守男

（ 参考 評価区分 ）

区分	十分水準を超えていた。	水準を超えていた。	水準に達していた。	水準に達していない。	かなり水準を下回っていた。
評価結果 (100点満点換算)	80点以上	80点未満 70点以上	70点未満 60点以上	60点未満 50点以上	50点未満

以 上

目黒区エコプラザ事業報告書（概要）

1 施設の概要

施設名	目黒区エコプラザ
所在地	目黒区目黒1-25-26 田道ふれあい館地下1階
施設	情報室 / 打ち合わせコーナー / 活動室（令和6年度から環境学習室） / リサイクルショップ / 資源回収コーナー / 環境保全活動団体支援コーナー
事業内容 (条例上の各規定)	1 環境への負荷の低減に関する講座及び講習会等を実施すること。 2 環境への負荷の低減に関する図書その他の資料を収集し、利用に供すること。 3 不用物品を再生すること。 4 不用物品の販売又は交換の場を提供すること。 5 環境への負荷の低減に関する活動を行う団体を育成すること。 6 エコプラザの施設を利用に供すること。 7 前各号に掲げるもののほか、区長が必要があると認める事業

2 指定管理者の概要

団体名	エコライフめぐろ推進協会
所在地	目黒区上目黒二丁目19番15号
代表者	理事長 相馬 熊郎
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで（5年間）
受任業務	上記事業内容と同じ。

3 管理業務の実施状況（事業・行事等の実施状況、施設の利用状況、施設管理の状況など）

（1）事業の実施状況

主な講座等の実施状況は、表1のとおりである。

また、通年で活動室の貸出し、リサイクルショップ及び不用品情報の運営、何でもつくり隊の講座の開催等を行った。情報室ではテーマを決めて展示を行い、遊びながら学べるコーナーを設置した。

（2）施設利用の状況

別表「目黒区エコプラザ利用実績表」のとおり。

表 1. 令和 5 年度の主な講座等一覧表

4 月	子ども用品の交換会
6 月	出前講座（児童館）、サロン・エコライフ、修理コツコツ講座
7 月	出前講座（児童館・小学校）、DIY 子ども工作教室
8 月	出前講座（学童保育クラブ）、サロン・エコライフ
9 月	出前講座（児童館・小学校）、環境推進員養成講座
10 月	出前講座（児童館・区内イベント）、環境推進員等ステップアップ講座、環境推進員養成講座、子ども用品の交換会
11 月	出前講座（学童保育クラブ・区内イベント）、自然エネルギーを体感しよう（エコまつり・めぐろ 2023）、修理コツコツ講座、環境推進員養成講座、見学受入れ（高校・大学）
12 月	出前講座（児童館）、環境推進員養成講座、サロン・エコライフ、見学受入れ（保育園）
1 月	出前講座（児童館）
2 月	出前講座（児童館）、修理コツコツ講座
3 月	出前講座（児童館）、親子ふれあい自然体験

4 管理経費収支状況（指定管理者の収支決算の状況）

（単位：円）

項目	5 年度	備考
収入額（①）	32,237,408	区からの受託料、リサイクルショップ売上
支出額（②）	31,120,938	人件費・管理運営費・事業費等
差引（①－②）	1,116,470	

5 要望・苦情対応状況報告（要望・苦情についての内容・対応／2 件）

内 容	対 応
不要となった布団の回収をしてほしい。	要望を区に報告した。
リサイクルショップの寄付点数が多いと、品物の状態確認に時間がかかり、無料駐車券が 30 分では足りないので配慮してほしい。	意見として伺った上で、現状無料駐車時間の延長対応は難しいことを説明した。

6 サービス向上のための努力事項

内 容	効 果
西部地区での認知度向上	西部地区の児童館及び学童保育クラブで積極的に出前講座を開催した。

内 容	効 果
若い世代の環境活動への参加推進	区内にある大学の団体と連携し、目黒区エコプラザのウェブサイトで団体主催のイベント情報を発信する等の支援・協力を行ったほか、新たに SNS での情報発信を試行実施した。

7 アンケート結果 (※)

内容	実施時期	回答数	質問項目数
ショップ利用者アンケート	R6/2/13～17	100	9（来店経験、来店のきっかけ等）
	来店経験 初めて 7.0% リピーター 91.0% 未回答 2.0%		
	陳列 良い 35.0% 普通 34.0% 不満 2.0% 未回答 29.0%		
	接客 良い 37.0% 普通 25.0% 不満 1.0% 未回答 37.0%		
修理コツコツ講座アンケート（包丁研ぎ講座）	R5/6/17、R5/11/18、R6/2/10	128	8（情報の入手方法、講座の内容、今後の希望等）
	わかりやすさ（5段階評価）		
	難しかった ← 0.8% 1.6% 7.4% 21.3% 68.9% → 分かりやすかった		
	楽しさ（5段階評価）		
	つまらなかった ← 0.0% 0.0% 5.0% 20.2% 74.8% → 楽しかった		
	役立ち度（5段階評価）		
	役に立たない ← 0.0% 0.0% 2.5% 13.2% 84.3% → 役立ちそう		

※ その他、出前講座（児童館）参加者アンケートを実施した。

8 6年度に向けた改善提案

日々変化していく環境問題について、子どもたちや保護者が温室効果ガス排出の抑制など環境負荷低減の大切さを再確認し、省エネ、再生可能エネルギーの活用など脱炭素に向けた取組みに繋がる講座を実施する。小学校などでは、環境問題を知り身近な環境問題について学ぶ場を提供する。あわせて、ホームページやSNSを活用した時間にとらわれない講座づくりや、環境活動団体や大学などとも連携し、コーディネーターとして環境活動の推進力を高めていく。

次に、平成28年度から指定管理事業として実施している環境推進員養成講座については、オンライン等の活用により多様な参加ができるよう取り組む。

そして、リサイクルショップの運営にあたっては、区民やエコプラザ来訪者等に対して、事業目的の周知と啓発に努める。また、時季に合わせた販売企画やポップ、ショップ内のレイアウトなどの改善を進め、利用者が利用しやすく明るいショップとなるよう取り組んでいく。

さらに、活動室を環境学習室へと機能を変更し、目黒区が目指すゼロカーボンシティ実現に向け、区民等に対する環境活動の拠点等として運営していく。

以 上

項目		元年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績
利用登録	登録者数（※）	133 名	94 名	104 名	94 名	93 名
リサイクル ショ ッ プ	受付点数	73,131 点	35,276 点	27,794 点	31,177 点	28,352 点
	販売点数	53,705 点	32,315 点	22,903 点	26,157 点	25,991 点
	販売金額	10,192,569 円	6,732,661 円	5,641,201 円	7,573,425 円	7,734,728 円
図書	新規図書等 情報入力件数	39 件	39 件	42 件	40 件	40 件
	図書等貸出件数	262 件	306 件	230 件	180 件	134 件
不用品 情報	不用品情報 あげます登録件数	324 件	147 件	193 件	294 件	353 件
	不用品情報 あっせん成立件数	54 件	42 件	42 件	33 件	24 件
活動室	団体登録件数	11 件	12 件	7 件	4 件	4 件
	延利用回数 (午前・午後・夜間)	延 392 回	延 155 回	延 169 回	延 263 回	延 271 回

（※）登録数は、新規登録者と更新登録者の合計である。